

平成28年度 八条中学校学校運営方針

【学校教育目標】

「他者と共に自分の未来を切り開く生徒を育てる。」
～ 自主・自律・共生 ～

【目指す生徒像】

自分自身を大切にする生徒
仲間を大切にする生徒
仲間のために、仲間と共に行動できる生徒

【目指す教職員像】

～ チーム八条 ～ （ポジショニング・バックアップ）

ポジショニング

専門性：それぞれの役割のプロを目指しましょう。
伝 承：技術や思いを、惜しみなく伝えましょう。

バックアップ

相互理解：常にコミュニケーションを図りましょう。
想像力：想像力を研ぎ澄まし、生徒理解や同僚理解に努めましょう。

【重点的な取組】

「自己有用感の獲得」

あらゆる場面で「仲間づくり」を目指す。生徒同士を繋ぐ。

1. 学習活動の場面で

（1）すべての生徒が主体的に学ぶ授業の創造

「学びの共同体」のビジョンに基づき、その手法を借りて授業づくり、学校づくりに取り組む。

（2）「狭義の学力」へのこだわり

「やればできる」「自分にもできる」ことを「点数を上げてみる」ことで実感させる。

（3）「八条タイム」の活用（水曜日の5限、もしくは6限に設定）

週30コマで回す。授業の補充、テスト前の補習、生徒会の委員会活動等

当初、時間数を確保し、必要な時に有機的に利用できるようにする。（思い切った授業力
ットも含め）

(4) 道徳の授業の充実

道徳の授業科に向けてはもちろん、生徒の心を育てるための道徳の授業の工夫を。

生徒は、かつての家庭で行われていたような価値観の交流の機会が少なくなっています。

2. 生徒指導の場面で

(1) 学級集団を作る

学校は集団で育ちあうところです。どんな（自分の）クラス、学年、学校集団を作ろうとしているのかを常に問いかけましょう。

(2) 言葉が交わされる

おはよう、さようなら、ありがとう、ごめんなさい等、思いのこもった暖かい言葉が交わされる場面を大切に考えましょう。

(3) 学習し育つ環境の整美

教室やローカ、階段等、生徒が学習する場所、伸びる場所はいつもきれいに掃除されているように心がけましょう。生徒に清掃指導を徹底するのはもちろんですが、共に活動すること、また必要に応じては放課後に教職員の手で行う場面も。次の日が気持ちよくスタートできるように心がけましょう。当然職員室もです。

(4) 委員会活動の活性化

生徒の自発的な活動の推進。「やらされている」ではなく「八条中学校生であることへの誇り」を喚起する活動であって欲しい。言葉が適切でないかもしれませんが、委員会活動が教職員の下請けになっていては、生徒の自主性は育ちません。

3. 小中連携

小学校の落ち着きなくしては、本校の落ち着きはないと考えています。知り合うことは摩擦を少なくし、お互いのストレスを軽減するはずです。また、小学校ではできていたのに、中学校でまた一から始めるといったことはないでしょうか。小学校がどこまで、どのように指導をしているのか知るだけでも大きな意義があると思います。たとえば、授業の始まりの挨拶は？ 手の上げ方は？ 討論のさせ方は？ 授業の目当ての提示は？ などなど

(1) 三校連絡会の効果的な運用

行事の視点、学習指導の視点、生徒指導の視点等

(2) オープンスクール

小学校6年生を、本校の教職員全員が観察するチャンス。

中学校の授業のスタイルを見てもらうチャンス。

(3) 夏季合同研修

進路や、生徒指導、学力向上等、小中で共通の認識を持つことは大切な事だと考えます。

4. 地域を意識した取組

地域は小学校、中学校にとっても興味を持っています。唐橋小学校、南大内小学校、八条中学校、洛陽高校出身で、校区に住んでいる方々が多いです。自治連合会、各種団体は学校をよく見えています。上手く回っている時は大いに応援して下さいます。しかしいったんこじれると大変です。。

(1) ふれあい手作りカレンダー

文化祭での展示作品である「地域の貼り絵」をカレンダーにし、地域の高齢者に配布する。本校が永年取り組んでいる行事。

(目的) ○地域をあらためて知る。

原画を核、貼り絵を作る、住んでいる町内のお年寄り（70歳以上）の在宅家庭を調べ、カレンダーを配ることを通して。

○「ありがとう」と言ってもらえる体験とする。

直接、間接的に地域の方からお礼の言葉をいただく。

(2) その他の取組

① 松尾祭への参加（神輿を担ぐ体験）

② 南区一斉清掃（部活ごとに参加）

③ 西寺育成苑まつり（準備や後片付けなどの生徒の手伝い・祭りへの参加・吹奏楽部の演奏など）

④ 認知症サポーター（2年生取組）

⑤ ふれあいトーク（1年生取組）

⑥ 吹奏楽部の地域活動・地域貢献

唐橋区民運動会、唐橋子ども祭り、唐橋防災のタベ、南大内クリスマスコンサート等

⑦ 福祉体験（1年取組）